

第2章

ABA 式会話問題

重要度：★★★★★

難易度：★★★★

試験時、大問1の(6)から(10)の問題の前に、まずは以下のようなリード文が流されます。

「続いて、これから読むAとB二人の対話を聞いてください。次に、それに続くAの言葉として、最も適当なものを、続いて読む4つの中から1つを選び、その番号を解答欄にマークしてください。はじめの対話とそれに続くAの言葉は1題ごとに、通して2回読みます。」

ABA 式会話問題は AB 式の会話より1つレベルアップしたものです。AB 式は単純に A の質問を受けて B が答えるという会話の流れであるのに対して、ABA 式はより多様な会話の内容の展開がされているものです。

とはいえ、会話の流れや展開を分析すると、A が質問提起するかどうかによって、主に2種類、4パターンがよく見られます。

(1) A が質問文

I A 質問→B 回答→A さらなる展開（相槌かさらに質問か）

これはいわゆる通常の AB 式会話の延長線のものと言えるパターンです。

II A 質問→B 回答・聞き返す→A 回答

こちらも通常の AB 式会話の延長線のもので、さらに B のバリエーションが増えたパターンです。

(2) A が平叙文

III A 話題提起→B 質問→A 回答（基本的に B が質問文）

こちらは B が質問文の形式の ABA 式会話のパターンです。

IV A 話題提起→B フォロワー/展開→A さらなる展開（質問文なし、すべて平叙文）

こちらは A→B→A の 2 人 3 話で、全く質問なしの会話と言えるパターンです。

また I と IV においては、B はただ応答を受けることにとどまる会話ですね。いわゆる平叙文式の B の会話です。

それに対して、ⅡとⅢにおいては、BはAの話を受けて応答した上で、さらにAに質問するか、聞き返す形になります。いわゆる質問式のBの会話です。

それぞれBの内容によって、続くAの会話の内容が正しく予測できますね。ⅡとⅢの場合、AがどのようにBの質問や聞き返しに答えるか、ⅠとⅣの場合、AがどのようにBの応答をフォローしていくか、つまり更なる会話を展開していくかをつかむことが、問題を解くポイントになります。

リスニング問題を聞くときの心構えですが、以下の要点を押さえることがとても大切です。

- 第一** AとBの話の全体の流れをキャッチすること。
- 第二** キーワードになる単語、特に動詞、疑問詞は要注意！
メモを取っておくこと。
- 第三** 4つの選択肢のうち明らかに間違っているものは先に排除すること。
- 第四** 何よりもっとも重要なところは、Bの話す内容を正確に理解すること。
疑問文かどうかを確認すること。

では次に実際の過去問を解きながら上記の心構えも実践してみましょう。

過去問 1 第 103 回 3 級 リスニング 大問 1 (7)

A：你明天有没有时间？一起去买东西，怎么样？

B：不行，我明天有考试。

A：

- ①那咱们明天一起去吧。
- ②那你有时间的时候去吧。
- ③好哇，那咱们今天就别去了。
- ④不行，我今天也忙，没时间。

▼解 説

訳文：

A：明日は空いていますか。一緒に買い物に行くのは、どうですか。

B：いいえ、明日は試験がありますから。

A：

- ①では、明日一緒に行こう。
- ②では、あなたに時間があるときに、行きましょう。
- ③そうか。では今日はやめましょう。
- ④いいえ、今日は私も忙しくて空いていません。



KEYWORD

怎么样

どうですか

* (誘いの) 文+怎么样? →相手を誘った後に、意見を求める疑問文

この過去問において、A と B 二人の会話の流れをみると、A は B に「明日一緒に買い物に行こう」と誘い、そして B の意見を求めています。B は「明日テストがある」という理由でその誘いを断りました。このような AB の話の流れを受けて、A は次にどのような応答がありうるか、予測します。

選択肢からみると、①「明日一緒に行こう」は明らかに論理性が欠けます。B は明日テストで行けないのに、その続きとして「明日行こう」は相槌にはなりません。また③の「では今日はやめましょう」というのも、そもそも

「今日」行くという話ではなかったので、日付が間違いです。選択肢④も日付が「今日」になっているので、外れます。

②は、Bの「明日行けない」の流れに沿って、また日を改めて今度行くという適切な相槌なので、正解になります。

出題傾向と対策

上記で取り上げられた第103回大問1の(7)の過去問は、典型的なパターン I A 質問→B 回答→A さらなる展開（相槌かさらに質問か）です。

対策としては、まず A→B が何についての質問と回答か（A の質問の対象）疑問詞や時間助詞をメモしてはっきりさせるのがポイントです。そして、B の回答は肯定か否定かもしっかりとらえた上で、その続きの A の適切な発言を予測します。



正解：②